

千葉県社保協通信

2015年度 — No.16 2016年 4月 21日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

戦争するな いのち守れ いかそう憲法 25条 参院選で アベ 退陣 !! いのち守る! 4.17 千葉県民のつどい



17日、千葉市内で行った「いのち守る! 千葉県民のつどい」は360人を超す参加者の熱気にあふれました。強風の中でのリレートーク&スタンディングでは「戦争するな」「いのち守れ」「いかそう憲法25条」のコールで、”参院選で安倍政権を退陣に “の思いをひとつにしました。

オープニングは千葉県うたごえ協議会のメンバーが歌う「平和への叫び」につづいてよびかけ人のみなさんが登壇。実行委員会を代表して三輪定宣さんが、まず熊本地震被

災者へのお見舞いの言葉を述べ、主催者あいさつしました。

立教大学芝田英昭教授が「一億総活躍」社会の欺瞞～社会保障改革の行方～について講演。社会保障財源について「人間の能力は人とかわり協力・共同する中で開花する=持てる者が多くの税・社会保障費を負担することは社会的役割」とし、「所得税の累進課税強化、負担の逆進性の是正を」と話しました。県内の人権を守るたかひの紹介(右の写真)につづいて、銚子市・県住追い出し母子心中事件調査団の藤岡拓



郎弁護士が、悲惨な事件はなぜ起きたのか、どうしたらなくせるのかを報告と提言。各分野から「子どもの進学。出費に悲鳴!」「医療・介護の充実でだれもが住みつけられる地域づくりを」「国の悪政と住民の願いに板挟み-自治体職場の実態」について3人が発言しました。「芝田先生の講演を聞いて、皆保険制度がこんなにも崩されていることを知り驚いた。社会保障・社会福祉とは何かもっと学びたい」(60代男性) また、福祉の職場で働いてきた女性は「民生委員をしているが原点に戻って学習ができた。早速先生の著書を読んであらためて納得、力をもらった」と話しました。 —集会アピールは裏面に—

4.20 国会行動 —千葉県社保協・消費税を廃止千葉県連絡会—

170人が参加した中央社保協院内集会には県内から土建、民医連、民商、新婦人、保険医協会、年金者組合、労連などから36人が参加。

県内選出衆・参議員に、「消費税増税中止、安全・安心の医療・介護の実現を求める」要請を行いました。「中小業者は消費税が転嫁できず赤字。所得税ゼロでも消費税は納めなければならない。10%なんともない」(民商)などと訴えると、自民党議員の秘書の中にも「そうですね。引き上げは難しいでしょう」の対応も。昼の国会前集会では、鈴木徳男県社保協会長が400人の参加者を代表して、署名を日本共産党斉藤和子衆議院議員に託しました。



国会前集会で鈴木徳男会長が決意表明